

今回の行政懇談会では主要施策の説明、学校統廃合についての説明を行いました。行政懇談会に参加された方々のアンケートにより記述された意見を学校統廃合に絞ってここに紹介いたします。

学校統廃合については、学校統廃合問題検討委員会からの報告、学校規模適正化審議会からの答申、議会による特別委員会からの最終報告をもとに庁内プロジェクトチームを立ち上げ、統合に向けた方向性を検討してきました。今回の懇談会では、その検討してきた内容を皆様に説明し、意見交換を行いました。

学校統廃合の説明については分かりやすく理解できたという意見が多く記述されていました。

菊水地区の意見では、統合の方法について、新築するよりも増改築を望まれる意見、4校を1校に統合せず2校統合とし、段階的に統合できないものかという意見、統合する場所については、番城グラウンドではなく、中央小学校に統合しては、などの意見が記述されました。

三加和地区の意見では、まだ緊急性がないように思っているが、児童生徒が

減少するのは事実であり、統合は避けて通れないという意見があり、また、今後どのようなしていくのかわからないという意見がありました。今回の説明では、小中一貫校として検討していく方向性を示しました。

次に財政面での意見も多く記述しており、今回お示しした番城グラウンドに新築する場合の費用を考慮されたように、町の財政に負担のない方法を検討して欲しいという要望が多く記述されていました。現状では和木町は健全財政といっても過言ではないと思われまます。しかしながら、この状況を維持していくためにも無駄を省き日々努力していかななくてはならないと考えています。

小中一貫教育についても参加者からは、メリット、デメリットがよく理解できないとの意見が多い中、教科専門の先生が確保できるというメリットを改めて知ることができたという意見もありました。

また、中学校を和木町で一つにとつ意見が多く、説明の中で児童生徒数の将来推計により三加和中学校の生徒数が平成33年には67人とかなり減少していくことを心配されたことと考えられます。

参加者からの記述意見の中でも児童生徒

数が減少していることから、統合はしなくてはならないと感じられている方が多い中、人口増対策に向けた取り組みを強く要望されている意見があり、町としても人口増対策に力を入れなければならないと考えます。

学校統廃合に向けては、これから小学生・中学生になる保護者の意見をしっかりと聞いて欲しい、住民の意見を十分聞いて欲しいという意見が多く記述されています。

その他、学校統廃合以外についての意見等も多数記述されていました。皆様からの貴重な意見等を真摯に受け止め、町政に反映していくよう努力したいと考えます。



学校統合に対する主な流れ

『行政懇談会では、学校統廃合問題について一つの方向を示しました。その中ではさまざまな意見が出されましたが、これから町民の皆様に対する十分な説明を重ね、ご理解を得ながら慎重に取り組んでいきます。』



本町は、合併後7つの小学校(分校1)、2中学校が配置されています。しかし、近年の児童生徒数の減少は著しく、複式学級は、菊水南小学校で2学級、菊水西小学校1学級、菊水東小学校で1学級が設置されており、平成28年度までには菊水中央小学校を除く、すべての小学校で複式学級が設置される現状となっています。このような中、学校統廃合に向けた協議を行っています。

旧菊水町の議会特別委員会で学校統廃合事業について協議。(H17.6月)



教育委員会による教育講演会の開催(H18.2月)



和水平議会小・中学校一貫教育調査特別委員会の立上げ(H18.6月)



学校統廃合問題検討委員会(各校区6名の代表者)立上げ(H18.7月)
(議会代表・小学校PTA・中学校PTA・学校評議員・校長・区長代表)



学校規模等適正化審議会(米澤県立大学学長を会長)立上げ(H19.5月)
(議会・保護者・地域・校長・行政の各代表、学識経験者)18名



学校規模等適正化審議会から教育委員会へ答申

- 1) 複式学級を解消する。(集団の中で育む教育)
- 2) 小学校の統廃合を行う。(学校規模の適正化)
- 3) 小中一貫教育を導入する。(子どもの発達段階に応じた教育)



町議会小・中学校一貫教育調査特別委員会からの最終報告。(H19.12月)
(子ども達のこれからの長い人生を考えた時に、強くたくましく生き抜く力を育てることは大変重要である。ある程度の人数的中で、お互いに切磋琢磨しながら成長することが望まれる。子ども達が安心して学べる環境を創るのが私たちに課せられた使命。)



教育委員会より町部局へ具申(H20.2月)

「審議会答申を尊重して、学校統廃合に向けて慎重に取り組んでいく」との方針を確認し、和水平町におかれましても小学校の統廃合を目指し、その推進に努めていただくようお願いする。



町部局による庁内プロジェクトによる検討(H20.4月)

(庁舎内の総務課企画室・財政係・建設課・経済課・教育委員会の10名によって、調査・検討を行い下記の4つの検討案を示した。)

- 検討1 番城グラウンド周辺での小中一貫の教育
- 検討2 番城グラウンドでの小中一貫の教育
- 検討3 菊水北側に統合小学校を併設しての小中一貫教育
- 検討4 菊水中和4校統合した菊水中央小学校での小中一貫教育



平成20年6月に議会において、社会教育施設の整備された番城グラウンド周辺に新たに統合する学校を建設することを表明。

以上のようなこれまでの協議検討のなかでその方向を示しています。今後は町民の皆様と共に、和水平町の将来を担う子ども達の素晴らしい教育環境を整備することを目指し、子ども達の意欲と活気みなぎる誇りに思う学校を、町民の皆さんと共に支えあって創りあげて行きたいと考えています。